

【事業の経緯】

別添資料1

漁港-1 豊玉東地区水産生産基盤整備事業の経緯

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初 (H14 新規評価)	—	H14	H23	21.6	1.53	(千尋藻漁港) 防波堤A(改良) L=290m、 防波堤B(改良) L=55m、 防波堤C(改良) L=85m、 防波堤D(補修) L=70m、 防波堤E L=120m、防波堤F(改良) L=6m、 防波堤G L=40m、防波堤H L=20m、 -1m物揚場 L=90m、船揚場 L=20m、 道路A L=240m、用地A A=500㎡、 用地B A=500㎡、斜路 L=20m (塩浜漁港) 防波堤A L=50m、防波堤B L=30m、 防波堤C L=120m、防波堤D(改良) L=110m、 防波堤E(改良) L=50m、護岸(改良) L=15m、 浮桟橋 N=1基、-1m物揚場 L=20m、 道路A L=510m、用地A A=1,300㎡、 用地B(舗装) A=2,200㎡、 蓄養水域 A=6,000㎡、 (千尋藻漁場) 魚礁 1,509空m3
第1回審議 (H24)	評価後 10年経過	H14	H28	20.0	1.62	(千尋藻漁港) 防波堤A(改良) L=290m、 防波堤B(改良) L=55m、 防波堤C(改良) L=85m、 防波堤D(補修) L=70m、 防波堤E L=120m、 防波堤G L=40m、防波堤H L=20m、 -1m物揚場 L=90m、船揚場 L=20m、 道路A L=240m、用地A A=500㎡、 用地B A=500㎡、用地C(舗装) A=2,700㎡、 用地D(舗装) A=2,300㎡、斜路 L=20m (塩浜漁港) 防波堤A L=50m、防波堤B L=30m、 防波堤D(改良) L=110m、 防波堤E(改良) L=50m、護岸(改良) L=15m、 浮桟橋 N=1基、-1m物揚場 L=20m、 道路A L=510m、用地A A=1,300㎡、 用地B(舗装) A=2,200㎡、 (千尋藻漁場) 魚礁 1,509空m3
第2回審議 (H29:今回)	再評価後 5年経過	H14	H32	19.3	1.44	(千尋藻漁港) 防波堤A(改良) L=290m、 防波堤D(補修) L=70m、 防波堤E L=120m、 防波堤G L=40m、防波堤H L=20m、 -3m岸壁(改良) L=27m、 -2m物揚場(改良) L=33m、船揚場 L=20m、 道路A L=240m、 用地B A=500㎡、用地C(舗装) A=2,700㎡、 用地D(舗装) A=2,300㎡、斜路 L=20m (塩浜漁港) 防波堤A L=50m、防波堤B L=30m、 防波堤D(改良) L=110m、 防波堤E(改良) L=50m、護岸(改良) L=15m、 浮桟橋 N=1基、-1m物揚場 L=20m、 道路A L=510m、用地A A=1,300㎡、 (千尋藻漁場) 魚礁 1,509空m3



平成29年度 再評価実施個所別表

( 水産生産基盤整備事業 )

担当部課名:水産部漁港漁場課

地区名(漁港・漁場名)	豊玉東地区(千尋藻漁港、塩浜漁港、千尋藻漁場)
事業名	水産生産基盤整備事業(特定)
事業主体名	対馬市
再評価対象事由	再評価後5年経過
事業目的	本地区は、いか釣り漁業を主体とした漁業形態である。漁船数の減少、漁業者の高齢化といった問題に対応した防波堤の新設、改良及び浮棧橋の設置、魚礁設置を行い、常時出漁、就労環境の改善、漁獲高の向上を目指して、各種漁港施設の整備を行うものである。

		計	画
事業実施期間		H14～H32	
全体事業費		1,933百万円	
(進捗率)		(73.5%)	
平成28年度迄投資額		1,420百万円	
平成29年度当初予算		200百万円	
主な事業内容(○はH30以降計画があるもの)			
千尋藻漁港			
	防波堤A(改良)	290m	
	防波堤D(改良)	70m	
	防波堤E	120m	
	防波堤G	40m	
	防波堤H	20m	
○	-3m岸壁(改良)	27m	
○	-2m物揚場(改良)	33m	
	船揚場	20m	
○	用地B	500㎡	
○	斜路	20m	
	用地C(舗装)	2,700㎡	
	用地D(舗装)	2,300㎡	
○	道路A	240m	
塩浜漁港			
○	防波堤A	50m	
○	防波堤B	30m	
	防波堤D(改良)	110m	
	防波堤E(改良)	50m	
	護岸(改良)	15m	
	浮棧橋	1基	
	-1m物揚場	20m	
	用地A	1,300㎡	
	道路A	510m	
千尋藻漁場			
○	魚礁設置	1,509空m3	

漁業情勢、社会経済情勢等の変化			
		前回評価時(H24)(H21港勢)	再評価時(H29)(H26港勢)
登録漁船	(千尋藻漁港)	154隻	191隻
登録漁船	(塩浜漁港)	120隻	89隻
利用漁船	(千尋藻漁港)	223隻	251隻
利用漁船	(塩浜漁港)	144隻	112隻
(漁業生産額(属地))	(千尋藻漁港)	(600百万円)	(583百万円)
漁業生産量(属地)		1,074トン	702トン
(漁業生産額(属地))	(塩浜漁港)	(258百万円)	(258百万円)
漁業生産量(属地)		316トン	311トン
(正組合員数)	(千尋藻漁港)	(77人)	(72人)
組合員数		98人	148人
(正組合員数)	(塩浜漁港)	(42人)	(33人)
組合員数		50人	44人
漁業情勢、社会経済情勢等の変化の原因			
人口減少及び高齢化により、漁船数、生産量及び組合員数は減少傾向にあるが、塩浜漁港においては、いか漁が好調で生産量が増加傾向にある。千尋藻漁港、塩浜漁港どちらも漁業に対する依存度が高い。			

整備効果の発現状況 (供用開始状況等)	千尋藻漁港では、平成25年度の防波堤Hと平成28年度の防波堤Gの完成により港内及び航路の静穏度が向上し、安全な航行、係船が可能となった。また平成21年度に船揚場が完成したことで、補修作業の省力化とコスト縮減が図られた。塩浜漁港では、平成24年度の浮棧橋の完成で荷捌き施設前での漁船待機が解消され、平成27年度防波堤E(改良)の完成により港内静穏度が向上し、陸揚げ及び係留作業の効率化、省力化が図られた。
------------------------	---

未着工及び工事遅延等の理由及び解決の見通し	対馬市の合併に伴う財政難で建設費用が大幅に削減された等の理由により未着工及び工事遅延が生じていたが、漁港機能の集約化により進捗が図れる。
-----------------------	--

費用対効果分析手法の活用の有無	B/C=1.62	B/C=1.44
-----------------	----------	----------

コスト縮減の可能性	なし	なし
-----------	----	----

事業主体における再評価の結果に基づく対応方針(案)	見直し継続
---------------------------	-------

(コメント) 漁港施設の質的な改善(港内静穏度の向上、浮棧橋の整備)を実施し、漁業従事者の安全で快適な就労環境の改善を図るとともに、魚礁を設置し漁獲高の向上を図る。



# 平成29年度 長崎県公共事業評価監視委員会

## 再評価対象事業

### 漁港-1 豊玉東地区 水産生産基盤整備事業 (特定漁港漁場整備事業)

### 対馬市

1

#### 位置図

(拡大図)



本地区は、対馬島の東沿岸に位置しイカ釣りを主体とした対馬中央部沿岸漁業の中核的な地区である。

2



事業概要

千尋藻漁港(千尋藻地区)



3

事業概要

千尋藻漁港(鑓川地区)完了



4



# 事業概要

## 千尋藻漁港(横浦地区)



5

# 事業概要

## 塩浜漁港



6

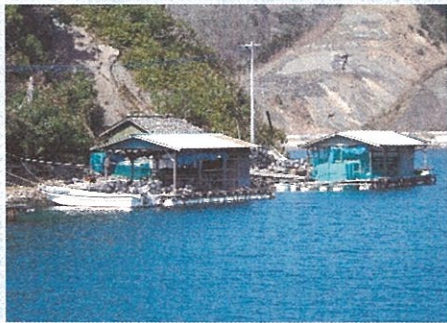


## 事業の必要性（1）

〔道路A・用地B・斜路〕

現在の母貝養殖施設

横浦地区



・満潮時は、徒歩での通行が出来ず船で移動しており、作業効率、安全性が非常に悪い状況である。

道路、用地、斜路の一連の整備により、作業の効率化・安全性が向上し、労働時間の短縮・省力化により、就労環境の改善が図られる

## 事業の必要性（2）

〔-2m物揚場（改良）・-3m岸壁（改良）〕

干潮時給油作業

漁具積込作業



・潮の干満差により準備作業に苦慮している状況である。そこで潮の干満差に対応できる浮体式係船岸を設置し準備作業の軽労化を図る。  
・高齢化に伴い地元の要望が強くなった。





## 再評価に至った理由（1）

### 【工種の追加】

千尋藻漁港（千尋藻地区）

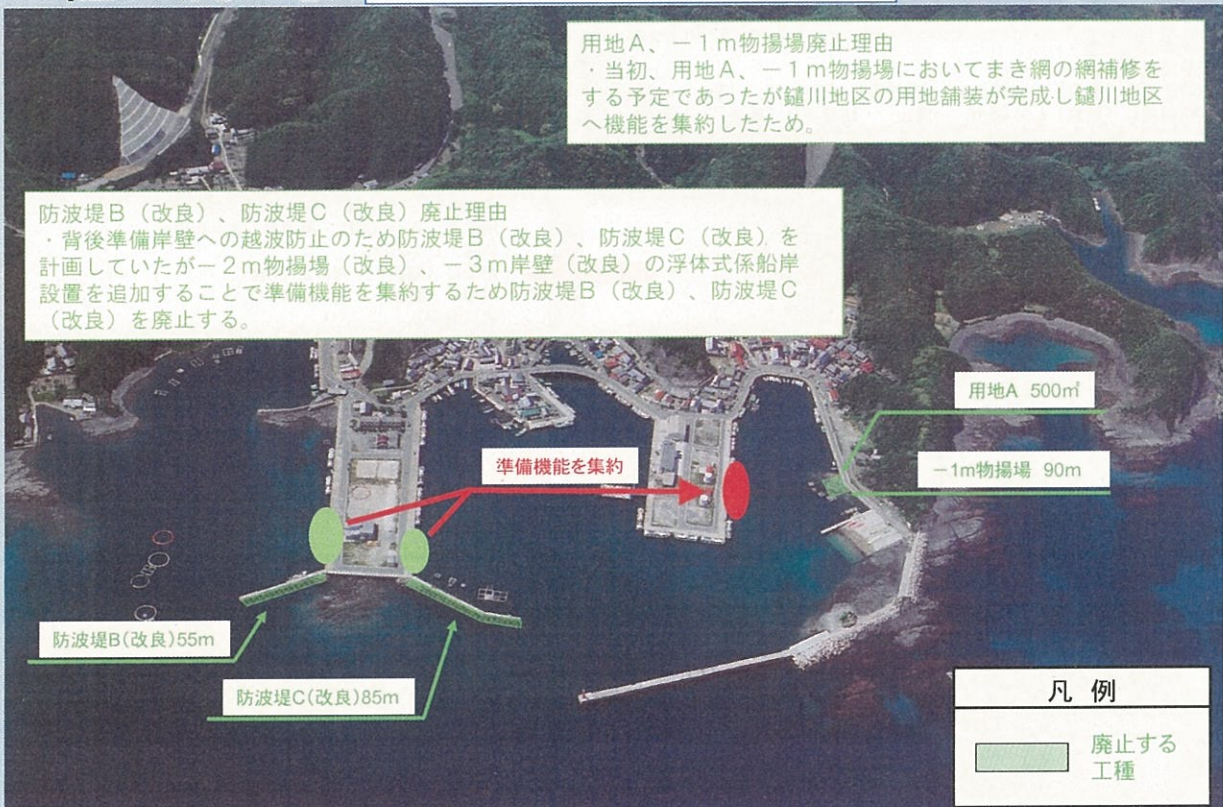


9

## 再評価に至った理由（2）

### 【工種の廃止】

千尋藻漁港(千尋藻地区)



10



## 再評価に至った理由（2）

### 【工種の廃止】

### 塩浜漁港



#### 用地B(舗装) 廃止理由

・当初は、湾内に設置予定であった蓄養生け簀の網補修のために用地を舗装する予定であったがブリ等の市場価格が低迷する中、蓄養生け簀を設置する計画がなくなった。そのため用地B(舗装)を廃止する。

11

## 再評価に至った理由（3）

### 【事業費減】20.0億円(前回)→ 19.3億円(変更)

#### 平成24年度事業量

- （千尋藻漁港）
- ・防波堤A(改良) L=290m ・防波堤B(改良) L=55m →**廃止**
  - ・防波堤C(改良) L=85m →**廃止** ・防波堤D(改良) L=70m
  - ・防波堤E L=120m ・防波堤G L=40m
  - ・防波堤H L=20m
  - ・-1m物揚場 L=90m →**廃止**
  - ・船揚場 L=20m ・道路A L=240m
  - ・用地A A=500㎡ →**廃止** ・用地B A=500㎡
  - ・斜路 L=20m
  - ・用地C(舗装) A=2,700㎡
  - ・用地D(舗装) A=2,300㎡
- （塩浜漁港）
- ・防波堤A L=50m ・防波堤B L=30m
  - ・防波堤D(改良) L=110m
  - ・防波堤E(改良) L=50m
  - ・護岸(改良) L=15m ・浮棧橋 N=1基
  - ・-1m物揚場 L=20m
  - ・道路A L=510m ・用地A A=1,300㎡
  - ・用地B(舗装) A=2,200㎡ →**廃止**
- （千尋藻漁場）： V=1,509空m3

#### 平成29年度事業量

- （千尋藻漁港）
- ・防波堤A(改良) L=290m ・防波堤D(改良) L=70m
  - ・防波堤E L=120m ・防波堤G L=40m
  - ・防波堤H L=20m
  - ・-3m岸壁(改良) L=27m ←**追加**
  - ・-2m物揚場(改良) L=33m ←**追加**
  - ・船揚場 L=20m ・道路A L=240m
  - ・用地A A=500㎡ ・用地B A=500㎡
  - ・斜路 L=20m
  - ・用地C(舗装) A=2,700㎡
  - ・用地D(舗装) A=2,300㎡
- （塩浜漁港）
- ・防波堤A L=50m ・防波堤B L=30m
  - ・防波堤D(改良) L=110m
  - ・防波堤E(改良) L=50m
  - ・護岸(改良) L=15m ・浮棧橋 N=1基
  - ・-1m物揚場 L=20m
  - ・道路A L=510m ・用地A A=1,300㎡
- （千尋藻漁場）： V=1,509空m3



#### 〔事業費増の主な内容〕

事業費増の内容	減額	主な減額理由
①事業量の見直し	約0.7億円	機能集約による事業量の見直し。
計	約0.7億円	

12



## 再評価に至った理由（４）

【完了工期】H28(前回)→H32(変更)



13

## 費用対効果分析

【B/C】1.62(前回)→ 1.44(現行)

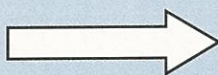
〔マイナス要因〕

- ・工期の延長

〔プラス要因〕

- ・浮体式係船岸の設置による就労環境の改善

対応方針  
(原案)



事業継続

14